



東ティモールへ寄贈した救急車の現地研修のため 消防職員を派遣します

～現地での有効活用に協力します～

東海市で令和5年度まで運用していた救急車1台を、一般社団法人日本外交協会を通じて、東南アジアの東ティモールへ寄贈しました。

現地での救急車の有効活用のため、取り扱い及び維持管理等の現地研修に本市消防職員2名を派遣します。

■派遣日時

令和6年（2024年）11月1日（金）から11月9日（土）まで 全9日間
（うち、現地での指導期間は4日間）

■派遣場所

東ティモール民主共和国 東ティモールハンセン病ミッション

■派遣職員

消防士長 川辺信之介（職歴13年）

消防副士長 大住慎太郎（職歴7年、救急救命士）

■内容

一般社団法人日本外交協会から、東海市が寄贈した救急車の取扱説明について依頼があり、本市の消防職員を現地に派遣するものです。

現地では、車両の操作方法、車内装備等（ストレッチャー、資器材）の取扱方法、点検維持管理についての説明・訓練を行う予定です。

■出発式

令和6年（2024年）10月30日（水）午前9時00分から

東海市消防庁舎 車庫前

■写真等（現地での救急車の様子）



（写真提供：一般社団法人日本外交協会）

問合せ	消防署警防課 担当：池田（いけだ） 0562-36-0471（内線 8211）
-----	---